

地域文化のドキュメンテーションと アーカイブズ

— 生活の記憶を記録し、保存し、活かすことの意義 国際シンポジウム

趣旨

地域に根ざした文化は、豊かな自然環境や言葉、歴史など多角的な要素で構成されている。そして、これらの地域文化は、それ自体が独自の価値を持つだけでなく、住民が地域に誇りや愛着を深め、地域社会の連帯感を強め、豊かな社会生活を構築する資源となる。一方、情報技術の革新的な進展や地球規模で展開される経済活動、あるいは多発する自然災害や紛争は、地域を大きく変貌させ、独自に育まれた多様な地域文化を危機的な状況に追い込んでいくことが懸念される。

私たちはこうした社会情勢のなかで、あらためてこれまでの日々の営みで育まれてきた地域の知恵や歴史が凝縮された地域文化を見つめなおし、他者の文化を理解し、真に豊かで新たな社会の創発を促していくことが求められている。また、こうした活動に人間文化研究の果たす役割は大きいと考える。

そこで、本シンポジウムでは、自身の生活文化の記憶を記録し、記録したものを体系的に保存し、活用する、日本と台湾における人間文化研究の活動に着目する。日本と台湾は、共に地域文化を保存・活用するためにさまざまな制度を生み出し、多くの試みがなされてきた。お互いの成果を共有するとともに、そこで生じた課題についても検討することで、より広い視野から、地域文化を共創するヒントが得られると考える。そして、精神的な安らぎや生きる喜びを感じながら日々を送ることのできる心豊かな社会の創発モデルについて議論を深める。

主催：国立民族学博物館・国立台湾歴史博物館

共催：国立台北藝術大学大学院博物館研究科

時間：2025年2月14日（金）・15日（土）

会場：国立台湾歴史博物館 階梯教室

プログラム

1日目 2月14日（金）

第1部：日本における横断的・融合的な地域文化研究の展開

総合司会：邱君妮 - 東京藝術大学 特任研究員

時 間	プ ロ グ ラ ム
10:00 - 10:10 開 会 あ い さ つ	張隆志（国立台湾歴史博物館・館長）
10:10 - 10:15 趣 旨 説 明	日高真吾（国立民族学博物館・教授） 「地域文化のドキュメンテーションとアーカイブズ—生活の記憶を記録し、保存し、活かすことの意義」について
10:15 - 11:15 基 調 講 演	川村清志（国立歴史民俗博物館・准教授） 日本の地域文化の創発と文化資源の再編成に向けて—保存から活用という領域展開
11:15 - 11:55 発 表	平井京之介（国立民族学博物館・教授） 水俣病運動アーカイブズの形成と活用—負の歴史と地域文化の創発
11:55 - 13:30	ランチ休憩
13:30 - 14:10 発 表	高科真紀（国立民族学博物館・助教） 戦後沖縄の記憶をつなぐ—写真家・比嘉康雄アーカイブズの資源化と活用—
14:10 - 14:50 発 表	吉田丈人（東京大学教授・総合地球環境学研究所客員教授） 自然の恵みを活かし災いを避ける地域文化
14:50 - 15:00	休憩
15:00 - 15:40 発 表	陶山徹（長野市立博物館・学芸員） 長野県における天文資料のアーカイブと市民科学
15:40 - 16:20 発 表	西村慎太郎（国文学研究資料館・教授） 原発事故被災地の歴史・文化の継承と「復興」—『大字誌浪江町小丸』を事例に—
16:20 - 16:35 コ メ ン ト	橋本沙知（国立民族学博物館・プロジェクト研究員） 八代陽子（国立民族学博物館・職員）
16:35 - 16:50 コ メ ン ト	石文誠（国立台湾歴史博物館・副研究員） 陳怡宏（国立台湾歴史博物館・研究員） 陳怡菁（国立台湾歴史博物館・アソシエイトフェロー）
16:50 - 17:05	質疑応答

プログラム

2日目 2月15日(土)

第2部：台湾におけるデジタルアーカイブと地域研究の可能性

総合司会：邱君妮 東京藝術大学 特任研究員

時 間	プ ロ グ ラ ム
09:40 - 10:15 発 表	石文誠（国立台湾歴史博物館・副研究員） 博物館のキュレーション活動と市民参画の仕組みについて
10:15 - 10:50 発 表	陳怡菁（国立台湾歴史博物館・アソシエイトフェロー） 歴史知の活用とその課題:台史博による「竹家屋を担いで川から避難する(扛茨走溪流)」水害の歴史を振り返り、現地での7年間の文化的観察に立ち戻る
10:50 - 11:25 発 表	呂怡屏（国立台湾歴史博物館・アソシエイトフェロー） 台湾先住民資料調査とコミュニティとの連携—シラヤ族の写真調査を例に
11:25 - 11:50 発 表	陳怡宏（国立台湾歴史博物館・研究員） 国家文化メモリーバンク 2.0 について
11:50 - 13:30	ランチ休憩
13:30 - 14:05 発 表	張育君（国立台湾歴史博物館・リサーチアシスタント） 地域の漁法と漁具の調査、デジタルアーカイブズとその応用
14:05 - 14:40 発 表	葉前錦（国立台湾歴史博物館・副研究員） フィルムから4Kへ—国立台湾歴史博物館における日本統治時代のフィルムの保存と再生
14:40 - 15:15 発 表	張育嘉（国立台湾歴史博物館・リサーチアシスタント） 地域文化・歴史資料のデジタル保存—「台湾地方文献データベース」の現況と今後の課題
15:15 - 15:35 コ メ ン ト	河村友佳子（国立民族学博物館・プロジェクト研究員） 黄裕元（国立台湾歴史博物館・副研究員）
15:35 - 15:45	休憩
15:45 - 16:50 全 体 討 論	黄貞燕（国立台北芸術大学・博物館研究科 副教授兼所長）
16:50 - 17:00 閉 会 あ い さ つ	日高真吾（国立民族学博物館・教授）